

## 令和3年度「知事と市町長の1対1対談」（玉城町）概要

- 1 対談市町 玉城町（辻村<sup>つじむら</sup> 修一<sup>しゅういち</sup> 玉城町長）
- 2 対談日時 令和3年7月8日（木）14：00～15：00
- 3 対談場所 玉城町立田丸小学校 体育館
- 4 対談項目1 新型コロナウイルス感染症にかかる人権尊重について  
対談項目2 持続可能な地域コミュニティづくりについて
- 5 対談概要

### 対談項目1 新型コロナウイルス感染症にかかる人権尊重について

（町長）

玉城町では令和2（2020）年8月、新型コロナウイルス感染症に関連して「やさしさ」と「おもいやり」あふれるまちづくり宣言」を宣言し、「一人ひとりが正しく行動しましょう！」「みんなで助け合い、乗り越えましょう！」「みんなで感謝し、応援しましょう！」と3つのメッセージで呼びかけました。

新型コロナウイルス感染症に感染した方への差別など、いろいろな問題が起こっている中で、町内4つの小学校と、玉城中学校の児童生徒が人権問題に取り組み、それぞれの学校ごとに発表し、その様子をケーブルテレビで町民に発信しました。

また、玉城町社会福祉協議会や町民らで構成する「元気ですたまき委員会」が中心となって、町民や各種団体に「やさしさと思いやりあふれるまちづくり宣言」を呼びかけ、その様子をYouTubeや玉城町のケーブルテレビで発信しました。

人権侵害を許さない取組は、あらゆる手段を講じて広く周知し、深い理解を求めることが重要です。

全県的に市町一体となって取り組むべき課題であると認識しており、創意工夫のもと、老若男女に向けたさらなる取組の強化をお願いします。

（知事）

玉城町を挙げての「やさしさ」と「おもいやり」あふれるまちづくり宣言」に基づき、各学校の皆さんでも学校宣言をしていただきました。自分たちで考えて、自分たちで行動する、大変よいやり方だと思います。

県では、ホームページに知事からのメッセージを掲載して、SNSでの<sup>ひぼう</sup>誹謗中傷や不当な差別、偏見、いじめをしないように呼びかけています。FM放送やショッピングセンター等での店内放送でも30秒のメッセージを流しました。

また、いじめや誹謗中傷などを受けた方が相談できる窓口を設けたり、相談してくださった方を支援する取組を行っています。

県教育委員会では、新型コロナウイルス感染症に係る人権侵害や誹謗中傷等から

児童生徒を守るために、インターネットの中で偏見、いじめなどがないかどうか、平日は毎日「ネットパトロール」を行っています。

また、新型コロナウイルス感染症に対する不安も含め、子どもたちがさまざまな不安や悩みを相談できる「こどもSNS相談みえ」も運営しています。LINEなどSNSで起こっているいじめについて、スクリーンショット画像を送ると学校が対応する、全国的には珍しい「ネットみえーる」も運営しています。

皆さんのやさしさや思いやりで偏見や差別をなくしていくことが大切だと思っています。

## 対談項目2 持続可能な地域コミュニティづくりについて

(町長)

玉城町には、中学校は1校、旧村からの4つの地域それぞれに小学校や保育所があり、コンパクトなまちの中にバランスがとれた状態になっています。この状態を将来にわたって持続していくことが、玉城町として大切なことだと思っています。

コロナ禍において、今までのようには、人と人とのつながりをつくる場や、話し合いの場がなかなかつくれません。そのような中で、みんなで工夫して、田丸地区をはじめ4つの小学校区を住みやすい地域にして、将来にわたって小学校が残り、子どもたちを地域みんなで守っていけるよう、地域のつながりやコミュニティをどう形成していくかが重要です。子どもたちが、将来安心して暮らせるようにしていきたいと思っています。

まちづくりにおいて一番大切なことは、地域の皆さん自身が、自分たちで地域を守っていききたいという意識です。地域共生社会、地域包括ケアなどのまちづくりに力を入れていきたいと思っています。持続可能な地域コミュニティづくりについて、知事の考えを聞かせてください。

(知事)

地域の持続可能性というのは非常に重要であるため、県では「持続可能な地域コミュニティづくり推進検討会議」の中で、市町による学びや意見交換の場をつくっています。

令和2（2020）年度から、「地域コミュニティと若者をつなぐきっかけづくり事業」の中で、若者たちによるオンラインのトークイベントをしています。若者とつながり続けるということが大事なので、令和3（2021）年度も若者同士のネットワークの醸成や拡大、若者の人材育成につなげることもやっていきたいと思っています。

度会県プロジェクトでは、1,410名ほどの度会県民のうち、5割が県外の方で、約300名の方は首都圏の方です。度会県民など、地域を応援してくれる皆さんとつながり続けられる取組を促進していきたいと思っています。